

一般質問(要旨)

田口 貴子

小川 克美

これでいいのか狛江市の少子化対策(長期・短中期ビジョン)

問 ①緊急性の認識と過去の評価、今後の計画達成見込みは。②公共施設再編でどのように保育園を配置し、待機児解消とニーズ対応型運営を行うか。③保育料差額補助の可能性と保育ママの問題点は。

答 ①子育てしやすい条件整備、環境づくりは特に重要。さらに目標達成に向け努力。②緊急課題の早期解消を目指し、保育サービスの水準の維持向上を図る。③保育ママは、今後の研究課題と考える。

公共施設をもっと便利に(授乳室の設置・団体登録の一本化)

問 ①授乳室の市役所2階への設置内容は。②他施設への展開は。③公民館と地域・地区センター間で二度手間となる団体登録の一本化を。

答 ①囲いを作りベビーベッドなどを置く②地域センターでは独立スペースは難しい。公民館での確保は難しい。応接室の一次的使用は可能③施設設置目的の違いがある。過去に検討、一本化に至っていない。

市長の政治姿勢について

問 ①市議改選の結果、新人・女性議員がふえたが、市長はこの民意をどのようにとらえたか。②将来の狛江に対して市民は不安や疑問を持っているが、市長はどのように考えるか。

答 ①それぞれの議員活動に期待し、市政運営もそれに対応できるようにしたい。②財政基盤確立の取り組みを、しほば目標達成。今後も収支均衡型財政確立に努力し、新たな政策展開にも入っていききたい。

新しい狛江のかたちについて

問 ①狛江における住民の行政参加の現状は②各審議会の公募市民のあり方は③今後の公募市民の取り組みは。

答 ①基本条例に基づき市民参加・市民協働を実施する中で、新たに提案制度を盛り込み一層の推進を図っている②重複委員を避けるようにしている③新しい方の参加のために課題等を審議会で整理してもらう。

安心・安全なまちづくりについて

問 ①災害弱者の現状把握と災害時のその対応は。②改正消防法による住宅用火災報知機設置義務を受けて、市民への設置促進は。③災害弱者に対する設置促進は。

答 ①所在把握、登録方法を検討中。災害時要援護支援班、自主防災組織や地域住民による誘導支援班を中心に対応を考えている。②広報掲載も検討する。③現在の制度の充実及び「取付」について今後研究。

石井 功

危機管理(はしかの)流行・その対策

問 ①今回の「はしかの流行」について市の現状と対策は②今後考えられる感染症について緊急管理体制が整っているか。③想定する感染症の種類及び緊急管理体制のイメージは。

答 ①中学校で集団発生、ワクチン未接種の小中学生に公費接種の緊急対策②整っていない。体制整備は今後の研究課題③SARS、鳥インフルエンザ等。緊急体制はどうあるべきかまとめていきたい。

財政再建(増収及び)町の活性化

問 ①滞納市税を徴収する方法と滞納させない方法②税収増に向けて商業の発展、創業、町の活性化が必要と考えるが、その見解と方法③市長が考える夢の町とリーダーが夢を語る必要性についての認識。

答 ①直接交渉の強化と早い段階からの徴収強化による年度内完結を目指す②創業支援、開業資金等、商工会へ全面的に支援していく③財政基盤を確立し、夢を市民に語っていくことは大切と認識している。

須田 繁美

市税他の未歳入の状況、保育料・給食費等の未収を問う

問 ①支払うべき市税・国保税が支払われず、財政を圧迫する要因の一つになっている。未歳入額を問う。②税を納め待機児童を抱える親と、収めずに通園させる親、給食も同様で、問題を問う。

答 ①現時点で、市税の平成18年度滞納繰越分未収入額は4億5121万円、国民健康保険税6億5506円。②待機児解消の努力をしていく。保育料を払わない世帯に対しては、支払いを強力求めていく。

栗山 欽行

市民の生命・財産を守る(防災都市計画)について

問 ①都防災計画修正版が公表された。市防災計画修正版の次期修正はいつごろか②災害時要援護者支援プランが未策定である。今後の方針は③延焼危険度測定結果が大幅に変わった。防災都市計画への認識は。

答 ①20年度に耐震改修促進計画を作成し21年度に見直したい②地域防災計画に入れ込められるものは順次入れていきたい③地域別延焼危険度測定、地域危険度測定調査結果等と整合を図り研究していく。

美観を損ねる落書きの反乱(落書き防止対策)について

問 ①落書きは犯罪である。治安維持・環境面からも放置することはできない。市の対応は②落書き防止条例の制定も含め、毅然とした姿勢が必要である。認識は③公共施設等の管理者としてどう対応するか。

答 ①落書き防止、また落書きを発見した場合直ちに消去することは大変有意義と認識する②条例制定について、全国的な取り組み状況を調査研究したい③落書きを発見したときは、迅速に消去作業を実施する。

情報漏洩は重大な損失(行政文書の管理)について

問 ①机上に放置した文書等、個人情報保護条例違反との指摘がある。現状は。②作成

途上の文書は公文書扱いとするか。③情報公開及び個人情報保護の両面から適切に管理する必要がある。問題点は是正措置は。④退庁時に机の上に置かれていたりといった状況が一部に見られる。⑤文書管理規則でいう文書類ではないが適切な管理は必要。⑥全庁に改めて注意喚起し適切な運用に努める。

谷田部 和夫

安全・安心のまちづくりについて

問 ①多摩川周辺の環境問題について。近隣住民に対するごみや騒音による迷惑対策。②狛江駅周辺の抜本的な駐輪対策。③私道整備、市道3号線泉龍寺墓地裏の歩道拡幅、道路危険箇所改善対策。

答 ①ごみは委託により回収。迷惑行為は調布警察署にパトロールの強化を依頼。②新たな駐輪場の設置を検討。③私道整備のあり方を研究。3・4号線工事の中で最大限確保。調布警察署と協議。

白井 明

まちづくりについて

問 ①中学校を2校とし、施設等の充実を提案しているが、中学校統合の検討は。②学校施設の耐震工事の状況と市民センターの取り組みは。③狛江駅近くの公共用地を活用し、子育ての拠点施設の検討を。

①答申の考え方でいる。一・四中の統合については改めて検討を教育委員会にお願いする。②年次計画に基づき実施している。市民センターも早期実施に向けて努力する。③提案を検討していきたい。

行財政改革について

問 ①正規職員が減少し多様な雇用形態が存在するが、正規職員が担う職務は。②当初の提案を譲歩し、保育園直営を決めたがその理由とメリットは。③直営で喫緊の課題解消はできるとの合意ができたのか。

答 ①業務リーダーの役割と高度な判断を要する業務など。②市民要望の実現と職員定数20名の削減を職員団体と合意。人件費削減が図られる。③延長保育拡大と園庭開放は合意。一時保育は今後の課題である。

宮坂 良子

だれもが安心して利用できる(介護保険)の充実を

問 介護保険法の改悪で負担が重過ぎて、サービスを受けられない人がふえている。①保険料・利用料の減免の充実を。②同居家族がいる場合、機会的に生活援助サービスの切り下げを行わないように。

答 ①国の激変緩和措置があり、現在の制度で考えていく。②一律ではなく、ケアマネジャーが家族の状況を的確に把握し、適切なケアマネジメントを行った上判断する。

